様式2

公共事業環境配慮書

建設部　砂防課

事業名称			
	事業名	国補地すべり対策（大規模特定）事業	
	整理番号	R8-7	
	事業の種類	地すべり防止工事	
	市町村名	下高井郡山ノ内町	
	箇所名	落合	
	事業年度	令和7年度～令和11年度	
事業概要			
	目　　的	当該地区は夜間瀬川の支流である横湯川の源流部にあり、志賀高原北西部に隣接している約292haの大規模な地すべり地である。そこから、約2.0～2.5km下流には湯田中一体の温泉郷が広がっており、これらを保全するための対策を行う必要がある。	
	計画概要（延長・幅員・面積・工種など）	地すべり対策工事 押え盛土工　V＝29,900m3	
	関連する事業計画	特になし	
	その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制			
	自然環境保全地域等の指定状況	国立公園	
	土地利用規制の状況	地すべり等防止法の地すべり防止区域	
	そ の 他	なし	
社会的要素		留意すべき地域の概況	
	交通の現況	工事箇所に隣接する交通はないが、周辺にはスキー場があり、避暑地としても観光バス等の交通がある	
	土地利用の現況	山地・丘陵地である	
	生活関連施設の現況	周辺にスキー場、ホテルが点在する。	
	その他	特になし	
自然的環境要素		環境配慮の方針	
	大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
		【大気汚染の防止】	
		・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	
		・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
		・有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	
		・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	
		・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
		【騒音、振動の防止】	
		・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	
		・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
		【悪臭の防止】	
		・想定される影響はない。	
	水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する
		【水質汚濁の防止】	
		・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。	
		・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点、すでに汚染が著しい地域等への排水をできる限り避ける。	
		・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
		【水循環の保全】	
		・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。	
	地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
		【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
		・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。	
		【改変面積の最小化】	
		・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	
		・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。	
		・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	
		・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	
		・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	

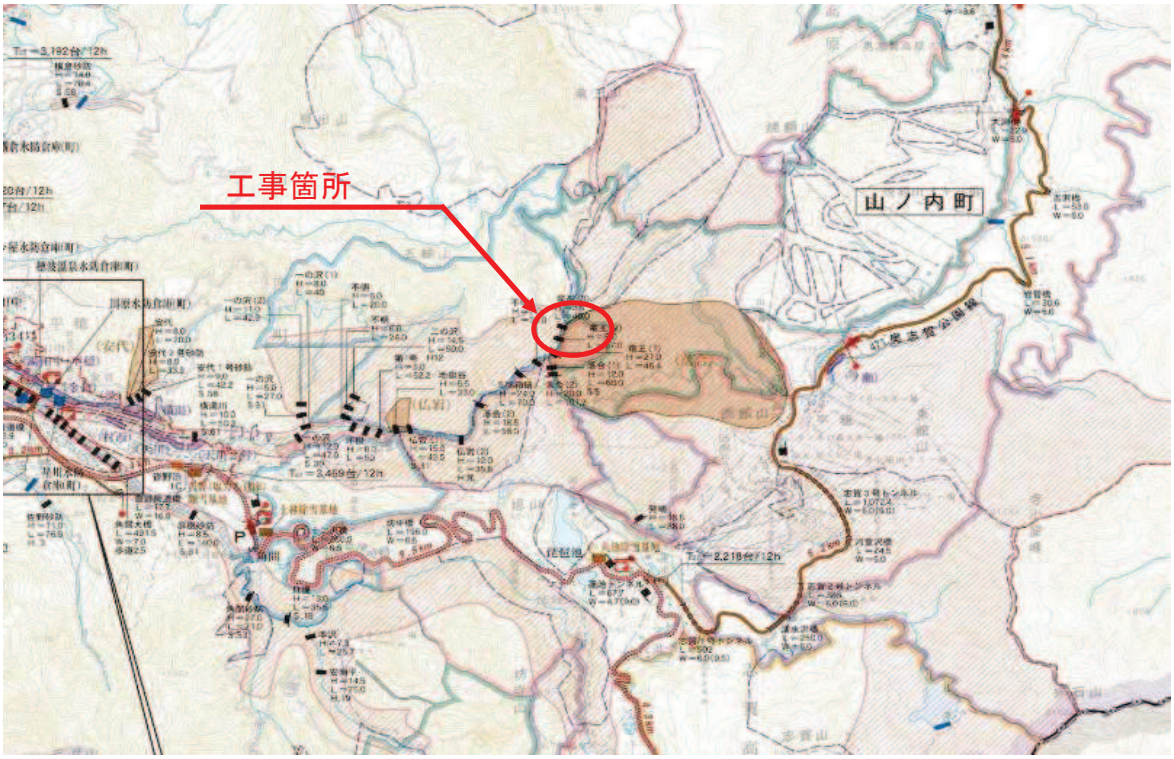
	野生動植物	留意すべき地域の概況	自然性が高い植生の地域である
		【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
		・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。	
		【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
		・動物の移動経路の分断をできる限り避ける又は新たな移動経路を確保する。	
		【動物の繁殖期における影響の低減】	
		・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。	
		【地域独自の生物多様性の保全】	
		・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。	
		・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、外来植物の侵入・定着・拡大の防止に努める。	
		・工事予定地の表土を用いた覆土による植生回復や地域由来の在来植物を用いた緑化に努める。	
		・特定外来生物が確認された場合は、関係機関と相談の上、駆除に努める。	
		【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
		・自然石、自然素材、多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	
	景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
		【すぐれた景観の保全】	
		・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
		【良好な景観の育成】	
		・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	
	自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
		【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
		・想定される影響はない。	
		【自然とのふれあい空間の創出】	
		・想定される影響はない。	
	文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
		【文化財等への配慮】	
		・想定される影響はない。	
	廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
		・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
		・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
		・工事に伴い発生する建設副産物の有効利用に努める。	
		【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
		・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
		【資源の有効利用】	
		・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	
	省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
		・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
		・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
		・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
		【エネルギーの有効利用】	
		・想定される影響はない。	
	日照阻害・ 電波障害・ 光害	【日照阻害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【電波障害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【光害への配慮】	
		・想定される影響はない。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	近隣にイヌワシ等の猛禽類が生息している可能性があるため、工事の実施に当たっては、通常の希少野生動植物への配慮に加え、事前に生息状況を把握し、生息が確認された場合は、その保全に支障が生じないよう特段の配慮を行ってください。	猛禽類調査を実施した結果、対象流域内で希少猛禽類の繁殖を示唆する行動は確認されませんでした。なお、施工期間中も状況把握に努め、影響が懸念される事象が確認された場合には、専門家の助言を踏まえ、工事時期や施工方法の見直し、繁殖期への配慮等を含む必要な環境保全措置を講じます。
2	廃棄物・建設残土	建設副産物の有効利用に努めてください。	持続可能な循環型社会の形成に向けて、建設副産物の再利用に努めます。

位　置　図

国補地すべり対策（大規模特定）工事

（地）落合　山ノ内町　落合



参考緯度経度（10進法） 36.73999508885779, 138.4836597366377

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複写したものである。」（承認番号　令元関複、第18号）